

デイサービス 日和

第8回運営推進会議報告書

管理者 滝 真二

下記要領にて第8回運営推進会議を行う予定でしたが、この度の新型コロナウイルス感染拡大防止の為、書面での開催とさせて頂きましたことご報告いたします。

記

1. 参加者：計 8 名

内訳 管理者 滝 真二
生活相談員 安藤 真由美
江南市高齢者生きがい課 1名
江南中部地域包括支援センター 1名
民生委員 1名
利用者代表 1名
家族代表 2名

を予定しておりました。

2. 会議の文書を各出席者様に郵送でお送りさせて頂き、ご意見やご質問を賜りました。ご協力いただきました方々のご意見、ご質問及び回答は以下の通りとなります。

・民生委員 荒田様よりのご意見

今回は書面開催であり、自宅で運営推進会議の資料を拝見しました。ゆっくりと時間がありましたので、日和さんのホームページ、デイサービスなどについて検索し、勉強させて頂きました。本当に大変なお仕事であるのが分かりました。職員の方におかれましては、笑顔を絶やさず、お仕事にお励みください。

・ご家族代表 滝 幸江様よりのご意見

利用者の心身向上の例など、読ませていただき、同じ介護者としてご家族の事を思うと、ご家族の気持ちがよくわかります。本当に少人数の日和さんだからできことと思います。お世辞ではなく、私は母の送迎をしているので、毎回職員の方と接することができ、皆さん良い方ばかりで安心して預けられます。そして母のアルツハイマーの進行がゆっくりなもの日和さんのおかげと感謝しています。

・ご家族代表 田中 恵子様よりのご意見

他の利用者さんの事例を興味深く拝見させて頂きました。それぞれに違った困難を抱える利用者に対して個別に対応をしていただけることをありがたく思います。

おでかけや外食にも連れて行ってもらえるので単調になりがちな日々の生活に刺激となります。何十年も前の話題が多かった義母も、日和で新しい人と出会い、新しい体験をするおかげで「最近の話題」が多くなりました。

・江南市役所高齢者生きがい課 河野様よりのご意見

毎回の運営推進会議において、利用状況やデイ活動の報告だけでなく、利用者家族からの相談内容や利用者の心身上の例を報告していただき、大変参考になっています。今後も続けて頂きたいです。

・江南中部包括支援センター 蟹江様よりのご質問と回答

Q. 12月6日の事故報告について、2日の休業はデイの判断か、それとも市や保健所の指示ですか。

A. デイサービスの判断です。

保健所に報告をすると、「施設ではないため、報告の義務はない」と言われましたが、2019年3月の厚生労働省のマニュアルに沿って報告した旨を伝えました。

同じく市役所にも同様の報告を行い、今後の営業についての指示を仰ぎましたが、特に保健所や市役所からの指示は出て来ませんでしたので、状況の確認、報告を幾度か行い、デイサービスとしての対応の方向性をすり合わせました。

協力医師の平成クリニック医師によると、施設内消毒と感染した利用者の方々の症状からして、営業しても構わないという事でした。

しかし、症状があった方は治まるまではこちらの判断で休んで頂きました。

また、12月6日に利用されても症状がない方、12月6日に利用されていない方も、数名以外はご家族様の協力が得られたり、お一人での留守番が可能であったり、他のデイサービスへの振替利用が可能であったため、ご自宅で待機が出来ない方のみの受け入れをさせて頂きました。

12月9日は3名、12月10日は1名ご利用。職員は12月6日に出勤していない職員が出勤し対応にあたりました。

入浴に関して、保健所から12月6日に利用した方の症状が回復するまでは中止とするよう指示がありましたので、12月11日より営業再開しましたが、その日は12月6日に利用した方が多かった為中止とし、大事を取って12日から入浴の再開をしました。

その後は、新たに症状が出たご利用者様、職員はいませんでしたので、保健所と連絡を取り、終息宣言を頂きましたので、皆様に書面にて終息宣言を出しました。

Q. 12月6日は結果的には感染があったと思われる他のゲストさんへの対応はどうされたのでしょうか。

A. まず12月6日のご利用して下さっていた方及び全職員に、事の経緯と症状の確認をしました。幸い、1度の嘔吐、1～2回の下痢、という軽症でしたので、受診をお勧めしたものの、ご自宅で静養し、経過観察された方が多く、受診に至った方は3名でした。(症状の重かった職員からは

ノロウイルス、アデノウイルスなど検査をしましたが、主な病原菌は出ず、診断名はつきませんでした。)

ご家族様と同居の方ばかりでしたので、通常の生活に支障が出ることはありませんでした。

ご家族様にうつる可能性があったため電話にて、ご本人様、ご家族様のご様子を何度か確認をさせて頂きました。症状が出たご利用者様は利用日を2~3回休まれた後、利用を再開して頂きました。

Q.コロナウイルスの事も含めて、感染症対策であらたに講じている対策があれば教えてください。

12月の社内研修として数日後に感染症の研修を行うところであったため、講師をする予定の職員が感染症のマニュアルを勉強しており、マニュアルに沿ってほぼ対応は出来たものの、やはり慌ててしまい、あれで良かったのか、と思う処理もありました。

その後の社内研修で、皆で振り返り、再度マニュアルを共有しました。また、外部の感染症研修にも職員2名が受講し、対応の仕方を学ぶことができました。

嘔吐、下痢などはどの場所でも起こり得ると考えられる為、ご利用者様が通常過ごされるテーブル回りに3か所、浴室、トイレ、送迎車3台に新聞紙やビニール袋で作った嘔吐物入れ、グローブなどを改めて設置しました。また、汚物処理キットを購入し、職員が安全に汚物処理を出来るように対策を取りました。

受診に関してはご家族様に強く勧める事が出来ない事もありましたが、今回のような事が介護施設において集団で起こる事がわかり、同じような状況になった場合は、今後推測される状況をご家族様に説明をし、受診をして頂けるように努める事としました。

コロナウイルスに関しましては、厚生労働省より感染拡大防止のための留意点が通達されていますので、それに従い、職員に関しては出勤前に各自で体温を計測し、37.5度以上の発熱が認められ、風邪症状がみられる場合には、管理者に連絡し、出勤をしないこととしています。ご利用者様に関しては、お迎え時に検温をし、37.5度以上の方はご利用をお断りすることとし、お断りしたご利用者様については、担当の居宅介護支援専門員に連絡をすることにしました。

ボランティアの方による活動につきましては、3月はすべて中止させて頂くことにしました。

日頃から入室時には手洗い、うがい、手指消毒を行って頂いていますし、トイレ後や、食事、おやつ前にはアルコール消毒を行って頂いていますので、ご利用者様も特に抵抗なく行って頂いています。室内は次亜塩素酸放出のジアイーノを2台設置しておりますが、新たに玄関とトイレにはクレベリンを設置しました。

送迎時には原則、職員はマスクを着用するようにしております。

- ・江南中部地域包括支援センター 蟹江様よりのご意見

「利用者の心身向上の例」は‘自立支援’としてとても参考になりました。今後も報告していただきたいです。可能であればケアマネージャーの言葉も少し報告していただくと参考になります。